



2024年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月13日
東

上場会社名 株式会社Waqoo 上場取引所
コード番号 4937 URL <https://waqoo.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐俣 文平
問合せ先責任者 (役職名) 管理部経理グループ (氏名) 井戸 隆太 (TEL) 03-6805-4600
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第3四半期の連結業績(2023年10月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第3四半期	1,424	7.7	△64	—	△63	—	△110	—
2023年9月期第3四半期	1,322	—	257	—	267	—	62	—

(注) 包括利益 2024年9月期第3四半期 △110百万円(—%) 2023年9月期第3四半期 62百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第3四半期	△32.39	—
2023年9月期第3四半期	20.72	20.49

(注))2024年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第3四半期	3,000	2,049	68.1
2023年9月期	1,581	772	48.9

(参考) 自己資本 2024年9月期第3四半期 2,044百万円 2023年9月期 772百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年9月期	—	0.00	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,052	18.9	66	△76.2	63	△78.0	60	114.7	20.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名) セルプロジャパン株式会社、除外 1社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年9月期3Q	3,618,928株	2023年9月期	3,010,278株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2024年9月期3Q	23株	2023年9月期	23株
------------	-----	----------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年9月期3Q	3,411,544株	2023年9月期3Q	3,006,223株
------------	------------	------------	------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の業績は記載の見通しとは異なる可能性がございます。なお、上記業績予想に関する事項は、4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により緩やかながら景気回復の兆しが見え始めているものの、エネルギー問題や原材料等の高騰、更には円安による物価の上昇等引き続き、依然として不透明な状況にて推移しております。

このような状況の下、当社と100%子会社のセルプロジャパン株式会社（以下、セルプロジャパンという。）は、引き続き、グループ一体となり中長期的な企業価値の向上に向けた取り組みを着実に推進してまいりました。

また、第4四半期以降を見据え、当社グループ全体の収益基盤を広げ、かつ、企業運営を強固なものにするための人材の採用強化を図ると共に、再生医療分野における共同研究開発にも積極的に取り組む等、いわゆる、“成長投資”を意欲的に行ってまいりました。

各セグメントの概況は、次のとおりです。

(D2C事業)

D2C事業については、育毛・発毛促進に特化した薬用炭酸ヘッドスパ育毛剤「sodate1（ソダテル）」の顧客の安定化と継続率向上を主眼とした新しい購買プランの提案をはじめ、既存の主力商品である「HADA NATURE（肌ナチュラル）」とのクロスセルやCRM施策を推進してまいりました。

また、新規顧客獲得に向けては、引き続き、効率的かつ効果的な広告宣伝に注力し、コストバランスを意識した取り組みを行ってまいりました。

この結果、同事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は1,028,366千円（前年同期比15.7%減）、セグメント利益は284,740千円（前年同期比48.8%減）となりました。

(メディカルサポート事業)

メディカルサポート事業については、引き続き、整形外科領域に重点を置いた血液由来加工の受託サービスの導入提案を行う一方、AGA（男性型脱毛症）領域を展開する医療法人等に対する導入提案を積極的に行った結果、同領域における提携医院数は大きく伸ばいたしました。

また、血液由来加工の受託サービスの認知度向上を目的として、「日本整形外科学会学術総会」に専用ブースを初めて出展し、更には独自のセミナーを開催する等の取り組みを行いました。

一方、セルプロジャパンにおける原料販売事業は堅調に推移しており、今後も安全性・品質面において高い信頼を得るべく、戦略的な特許取得も視野に入れた取り組みも積極的に推進してまいります。

この結果、同事業における当第3四半期連結累計期間のセグメント売上高は396,660千円（前年同期比280.9%増）、セグメント損失は8,845千円（前年同期はセグメント損失27,810千円）となりました。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は1,424,348千円（前年同期比7.7%増）、営業損失は64,638千円（前年同期は営業利益257,879千円）、経常損失は63,016千円（前年同期は経常利益267,354千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は110,483千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益62,282千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,772,387千円となり、前連結会計年度末に比べ211,221千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金の増加125,601千円、売掛金の増加40,233千円、商品及び製品の増加18,594千円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は1,228,391千円となり、前連結会計年度末に比べ1,208,124千円の増加となりました。これは主に、のれんの増加1,162,643千円、有形固定資産の増加47,084千円によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は567,353千円となり、前連結会計年度末に比べ64,009千円の増加となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金の増加21,763千円、短期借入金の増加20,000千円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は383,672千円となり、前連結会計年度末に比べ78,472千円の増加となりました。これは主に、長期借入金の増加77,944千円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,049,753千円となり、前連結会計年度末に比べ1,276,864千円の増加となりました。これは主に、資本剰余金の増加1,378,329千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期の業績予想につきましては、2023年11月15日付の「2023年9月期 決算短信」で公表いたしました業績予想から変更はありません。なお、当該業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,305,025	1,430,627
売掛金	118,977	159,211
商品及び製品	97,918	116,513
仕掛品	—	6,281
原材料及び貯蔵品	8,239	14,642
その他	31,003	45,952
貸倒引当金	—	△840
流動資産合計	1,561,165	1,772,387
固定資産		
有形固定資産	272	47,357
無形固定資産		
のれん	—	1,162,643
その他	7,937	3,635
無形固定資産合計	7,937	1,166,279
投資その他の資産		
長期貸付金	260,447	—
その他	5,130	14,754
貸倒引当金	△253,520	—
投資その他の資産合計	12,056	14,754
固定資産合計	20,266	1,228,391
資産合計	1,581,432	3,000,778
負債の部		
流動負債		
買掛金	28,459	15,498
短期借入金	170,000	190,000
1年内返済予定の長期借入金	160,451	182,214
未払金	75,649	75,741
未払法人税等	4,694	22,090
未払費用	24,159	29,266
その他	39,929	52,542
流動負債合計	503,343	567,353
固定負債		
長期借入金	305,200	383,144
その他	—	528
固定負債合計	305,200	383,672
負債合計	808,543	951,025

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	51,025	53,632
資本剰余金	1,087,153	2,465,482
利益剰余金	△365,291	△474,372
自己株式	△54	△54
株主資本合計	772,832	2,044,688
新株予約権	56	5,064
純資産合計	772,888	2,049,753
負債純資産合計	1,581,432	3,000,778

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年10月1日 至2024年6月30日)
売上高	1,322,397	1,424,348
売上原価	307,143	294,986
売上総利益	1,015,253	1,129,362
販売費及び一般管理費	757,374	1,194,000
営業利益又は営業損失(△)	257,879	△64,638
営業外収益		
受取利息	1,171	238
貸倒引当金戻入額	—	3,977
償却債権取立益	11,100	1,000
雑収入	173	159
営業外収益合計	12,445	5,375
営業外費用		
支払利息	2,367	3,494
雑損失	602	259
営業外費用合計	2,970	3,753
経常利益又は経常損失(△)	267,354	△63,016
特別損失		
貸倒引当金繰入額	200,000	—
特別損失合計	200,000	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	67,354	△63,016
法人税、住民税及び事業税	5,072	47,614
法人税等調整額	—	△147
法人税等合計	5,072	47,467
四半期純利益又は四半期純損失(△)	62,282	△110,483
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	62,282	△110,483

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	62,282	△110,483
四半期包括利益	62,282	△110,483
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	62,282	△110,483

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結子会社の解散決議)

当社は2024年3月21日開催の取締役会において、連結子会社である株式会社 Waqoo メディカルサポートを解散することを決議しております。なお、同社は現在清算手続き中であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
前第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	合計
	D2C事業	メディカル サポート事業	計		
売上高					
通販	1,186,046	—	1,186,046	—	1,186,046
血液加工	—	75,480	75,480	—	75,480
その他	32,205	28,665	60,870	—	60,870
顧客との契約から生じる収益	1,218,252	104,145	1,322,397	—	1,322,397
外部顧客への売上高	1,218,252	104,145	1,322,397	—	1,322,397
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,159	—	1,159	△1,159	—
計	1,219,411	104,145	1,323,556	△1,159	1,322,397
セグメント利益又は損失(△)	556,504	△27,810	528,694	△270,814	257,879

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△270,814千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	合計
	D2C事業	メディカル サポート事業	計		
売上高					
通販	1,003,630	—	1,003,630	—	1,003,630
血液加工	—	202,160	202,160	—	202,160
その他	24,660	193,897	218,557	—	218,557
顧客との契約から生じる収益	1,028,290	396,057	1,424,348	—	1,424,348
外部顧客への売上高	1,028,290	396,057	1,424,348	—	1,424,348
セグメント間の内部売上高又は振替高	75	602	677	△677	—
計	1,028,366	396,660	1,425,026	△677	1,424,348
セグメント利益又は損失(△)	284,740	△8,845	275,895	△340,533	△64,638

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△340,533千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

3. 当社グループの中期経営計画の策定に際し、メディカルサポート事業を再定義したうえで企業価値向上を目指すこととしております。これに伴い、第2四半期連結会計期間より記載の方法を変更しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の記載を当第3四半期連結累計期間の表示に合わせて注記の組替えを行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第2四半期連結会計期間において、セルプロジヤパン株式会社の全株式を取得し連結の範囲に含めております。

これによる、当第3四半期連結累計期間における「メディカルサポート事業」セグメントののれんの増加額は1,223,834千円であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	4,622千円	6,280千円
のれんの償却額	－千円	61,191千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。